

株式会社焼津水産振興センターの令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第221条第3項の規定により株式会社焼津水産振興センターの令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について報告を徴したので、同法第243条の3第2項の規定により別紙のとおり提出する。

令和5年6月28日提出
焼津市長 中野 弘道

第 40 期
事 業 報 告 書

自 令和4年 4月 1日
至 令和5年 3月 31日

株式会社 焼津水産振興センター

焼津市八楠四丁目13番地の7
TEL (054) 628-1137

第40期 事業報告

自：令和4年4月1日

至：令和5年3月31日

I. 事業の概要

(1) 営業の経過及び成果

これまで続いた新型コロナウイルス拡大が残した多大な影響で売上が低迷し、更には海外情勢の変化等により燃料費・原材料費が高騰し経営状況を圧迫した1年でした。今年度発足した新経営体制の基で健全な経営環境を取り戻す為の、改善計画を下期から始動しましたが残念ながら成果を報告するには至りませんでした。

行動制限が解除された年末年始からは来場者が増加し入場者総数は1,085,000人と回復傾向がみられるようになりました。

全社総売上高は527,516千円と前期と比較して145,282千円増加しております。しかしながら様々な要因で引き続き大幅な営業赤字▲56,173千円となってしまいました。

来期以降は

- ・利益計上がされる仕組み作りを徹底し、食堂部門は売上高を維持、増加させた上での原価率引き下げによる営業利益を確保し、費用対効果が検討された経費計上を実施し、不要支出を削減。
- ・入居テナントとの信頼関係の構築、情報共有を活発化させ、協同組合焼津さかなセンター解散後に移行した誘客費用の当社負担軽減を実施。
- ・空き店舗の解消に向け、新たな入店者を迎えらる魅力ある施設づくりの為のリフォームの実施。
- ・施設の老朽化イメージを払拭する美化活動推進による施設イメージアップ。
- ・社員一人一人の経営改善に向けた意識改革

《管理部門》

(有)ツジタとの賃貸借契約の解除により家賃収入は▲1,204千円減少しました。空き店舗を埋めるべく入店アプローチをした結果、焼津プリン商店、まるとう農園の新規入店者を迎えることができました。又、これまで賃貸されていなかった卸売り通りの倉庫利用契約も成立し、更に閉店したままであった(有)ツジタ跡地を海鮮組、おこたま本舗が利用も決まっております。

経費面では新経営体制が発足したことで人件費は3,823千円（役員報酬増加4,460千円）増加しました。夏季からの集客増加を図るべくイベントの催事費は前年比+2,741千円増の5,325千円、水道光熱費は+938千円増となり、営業損益では▲22,682千円と大変厳しい結果となりました。

《食堂部門》

食堂部門は売上高307,934千円と前年比+146,541千円増加しました。特に年末を中心に団体客売上が103,227千円と大幅に増加し、一般個人客売上也年明け以降増加しました。又、前年同様コロナ病棟への弁当配達業務を令和4年10月迄継続し年間38,933千円の売上があ

りました。

半面、燃料費・原材料費等の高騰が影響し原価率が大幅に上昇したため、収益を圧迫した。水道光熱費増加は+18,690 千円、食材の原価率は 45.2%と 3.3%上昇した。更には観光バスによる団体利用増加に伴い、旅行会社への支払手数料が+14,242 千円増加、乗務員サービス費・バス対策費が+5,984 千円増加と、売上が増加しても収益は上がらない状況のために食堂部門の営業損益は▲32,153 千円と 2 期連続で大幅な赤字計上となりました。

これまで原価率を抑える取り組みとして、メニューの絞り込み等は何度となく実施して来ましたが、原材料費を含む経費の高騰を解消できず、やむを得ず 3 月より一般食の価格を引き上げに至りました。又、団体旅行獲得経費増加についてもツアー会社との個々の交渉を始めており、販売価格の引き上げも実施しております。来年度以降は、部門として収益を更に意識した活動を展開予定です。

《立寄り部門》

旅行会社を通じてお客様への地場産品販売と県外への P R を兼ねた出店売上を目指し、営業を展開して来ましたが売上高は前年比▲101 千円、営業損益は▲5,950 千円と経費増加に対抗できる仕入先の検討等を実施していかなければならない状況が続いています。

《宅配部門》

協同組合焼津さかなセンター（入店者会）の解散に伴い引き継いだ業務部門であります。

主にお客様の購入した商品の宅配便受付業務とドライアイスの販売が主業務であり、お客様へのサービス提供部門となります。

売上金額は 22,083 千円と前年比▲2,787 千円にもかかわらず、人件費を中心とした一般販売管理費の増加で、営業損益は▲3,562 千円となってしまった。来期は外部委託を検討しており、宅配部門にかけた人員を他部門に振り分け効率的な事業にする予定です。

上記の現状を踏まえて、令和 5 年度の事業計画案を作成いたします。

(2)設備投資の状況

- 1.当期は、焼津プリン厨房壁ステンレス貼り工事・野立広告塔改修工事・エアコン設置(宅急便店舗)・イベント広場簡易テント・テナント出入口看板2ヶ所・換気扇新設・ブラインド(2階事務所)・ワイヤレスアンテナ(藁焼きスペース)の取得がありました。

(3)営業成績及び財産の状況の推移

(単位:千円)

区 分	第37期	第38期	第39期	第40期
売 上 高	554,475	293,711	382,234	527,516
当期純利益金額	-147	-67,088	-60,944	-64,161
1株の当期純利益	-27 円	-12,423 円	-11,285 円	-11,881 円
総 資 産	805,905	811,712	845,320	841,485

(4)資金調達の状況

1. 当期中は、社債及び新株発行による資金調達はありませんでした。

II 会社の概況

(1)主要な事業内容

1. 不動産の賃貸事業
2. 飲食店の経営事業
3. 入店者の取扱う水産物等の広告、宣伝、催事事業

(2)事業所

本 店 焼津市八楠四丁目13番地の7

(3)株式の状況

会社が発行する株式の総数 6,000株
発行済株式の総数 5,400株

(4)大株主

株主名	持株数	持株比率
焼津市	2,700 株	50.0 %
しずおか焼津信用金庫	540 株	10.0 %
東海ガス株式会社	360 株	6.7 %
焼津漁業協同組合	320 株	5.9 %
小川漁業協同組合	285 株	5.3 %
株式会社静岡銀行	200 株	3.7 %
静岡鉄道株式会社	200 株	3.7 %
株式会社ザ・トーカイ	200 株	3.7 %

(5)従業員の状況

部門	男	女	合計
管理部門	4名	1名	5名
食堂部門	12名	4名	16名
立寄部門	0名	1名	1名
宅配部門	0名	1名	1名
臨時パート	12名	33名	45名
合計	28名	40名	68名

(6)企業結合の状況

当期間は該当事項はありません。

(7)主要な借入金の状況 (令和5年3月31日現在)

借入先	当期末借入額
1. しずおか焼津信用金庫	145,000,000 円
2. 株式会社 静岡銀行	135,000,000 円
3. 静岡信用金庫	1,000,000 円
4. 日本政策金融公庫	30,000,000 円
計	311,000,000 円

(8)取締役及び監査役 (令和5年3月31日現在)

代表取締役	松 永 行 弘
常務取締役	中 澤 正 人
取締役	浜 崎 貢
同	加 茂 一 男
同	長 谷 川 寛
同	松 永 勝 裕
同	大 石 智 之
監査役	高 田 淳
同	橋ヶ谷長生

貸借対照表

第1号議案

令和 5年 3月31日 現在

単位：円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 147,372,229 】	【流動負債】	【 231,956,350 】
現金	2,505,925	買掛金	25,722,168
預金	84,289,786	短期借入金	181,000,000
受取小切手	350,000	未払費用	13,697,129
売掛金	30,504,783	未払消費税等	6,678,300
未収金	39,521,564	前受金	167,698
商品	3,747,411	預り金	449,155
貯蔵品	247,590	納税充当金	1,541,900
前払費用	78,284	賞与引当金	2,700,000
立替金	695,462	【固定負債】	【 216,148,900 】
貸倒引当金	-14,568,576	長期借入金	130,000,000
【固定資産】	【 694,112,823 】	退職給付引当金	20,889,325
(有形固定資産)	(677,937,723)	預り敷金	65,259,575
建物	123,826,503	負債合計	448,105,250
建物附属設備	16,745,220		
構築物	2,521,152		
機械装置	3	純資産の部	
器具備品	3,255,444	【株主資本】	【 393,379,802 】
少額減価償却資産	585,001	資本金	270,000,000
土地	531,004,400	(利益剰余金)	(123,379,802)
(無形固定資産)	(1,543,317)	利益準備金	6,090,000
電話加入権	444,300	その他利益剰余金	117,289,802
ソフトウェア	1,099,017	リニューアル建設積立金	20,000,000
(投資その他の資産)	(14,631,783)	別途積立金	360,000,000
関係会社株式	3,600,000	繰越利益剰余金	-262,710,198
出資金	210,000		
長期前払費用	10,821,783	純資産合計	393,379,802
資産合計	841,485,052	負債・純資産合計	841,485,052

損益計算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

科 目		金 額	
【売上高】			
売上高		518,516,893	
補助金収入		9,000,000	527,516,893
【売上原価】			
期首棚卸高		3,497,401	
仕入高		187,210,858	
* * 合計 * *		190,708,259	
期末棚卸高		-3,747,411	186,960,848
	売上総利益金額		340,556,045
【販売費及び一般管理費】			404,904,002
	営業損失金額		-64,347,957
【営業外収益】			
受取利息		5,048	
受取手数料		6,208,940	
受託料		1,800,000	
雑収入		6,145,136	14,159,124
【営業外費用】			
支払利息		4,098,736	
支払保証料		78,284	
固定資産除却損		1,808,087	5,985,107
	経常損失金額		-56,173,940
【特別利益】			
貸倒引当金戻入		6,770,610	
雑益		962	6,771,572
【特別損失】			
役員退職金		3,388,000	
貸倒損失		5,338,233	
貸倒引当金繰入		3,621,539	12,347,772
	税引前当期純損失金額		-61,750,140
	法人税、住民税及び事業税		2,411,769
	当期純損失金額		-64,161,909

株主資本等変動計算書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

株主資本

資本金	当期首残高及び当期末残高		270,000,000
利益剰余金			
利益準備金	当期首残高及び当期末残高		6,090,000
その他利益剰余金			
リニューアル建設積立金	当期首残高及び当期末残高		20,000,000
別途積立金	当期首残高及び当期末残高		360,000,000
繰越利益剰余金	当期首残高		-198,548,289
	当期変動額	当期純損失	-64,161,909
	当期末残高		-262,710,198
利益剰余金合計	当期首残高		187,541,711
	当期変動額		-64,161,909
	当期末残高		123,379,802
株主資本合計	当期首残高		457,541,711
	当期変動額		-64,161,909
	当期末残高		393,379,802
純資産合計	当期首残高		457,541,711
	当期変動額		-64,161,909
	当期末残高		393,379,802

個別注記表

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法による原価法を採用しております。

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法

法人税法の規定に基づく定率法を採用しております。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物及び平成28年4月1日以降に取得した建物・建物附属設備・構築物は定額法を採用しております。尚、平成13年4月1日以降に取得した、取得価額10万円以上20万円未満の減価償却資産については、法人税法の規定に基づき 3年間で均等償却しております。

引当金の計上基準

貸倒引当金

期末における長期滞留債権について、有税にて計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、令和3年度賞与支給額の3/12相当額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上しております。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

尚、未経過リース料総額は 23,597千円であります。

消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

貸借対照表等に関する注記

担保に供している資産

・建物	140,571,723円
・土地	531,004,400円

有形固定資産の減価償却累計額の金額

建物	835,015,428円
建物附属設備	691,561,555円
構築物	129,219,978円
機械装置	13,419,997円
器具備品	44,306,665円
ソフトウェア	303,983円
少額減価償却資産	2,284,999円
計	1,716,112,605円

株主資本等変動計算書に関する注記

発行済み株式の数

前期末株式数（発行済普通株式）	5,400株
当期増加株式数（発行済普通株式）	0株
当期減少株式数（発行済普通株式）	0株
当期末株式数（発行済普通株式）	5,400株
前期末株式数（発行済優先株式）	0株
当期増加株式数（発行済優先株式）	0株
当期減少株式数（発行済優先株式）	0株
当期末株式数（発行済優先株式）	0株

個別注記表

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

関連当事者との取引に関する注記

関連事業者との関係

種 類 : 子会社
名 称 : 有限会社東名焼津酒販
所 在 地 : 焼津市八楠4丁目13番地の7
資 本 金 : 360万円
事 業 内 容 : 酒類販売
議決権所有割合 : 100%
関連当事者との
関 係 : 役員の兼任

関連当事者との取引の内容

- ・酒類の仕入
- ・業務受託
- ・店舗の賃貸

取引内容

仕入高	193,000円
受託料	1,800,000円
受取家賃	1,152,000円

一株当たり情報に関する注記

一株当たりの情報

一株当たり純資産額	72,848.11円
一株当たり当期純損失	11,881.83円

その他の注記

当期中における減価償却資産の償却実施額

有形固定資産の減価償却費	12,638,502円
無形固定資産の減価償却費	280,600円
一括償却資産の損金算入額	956,666円
計	13,875,768円

[謄本]

監査報告書

令和 5年 5月 15日

株式会社 焼津水産振興センター
代表取締役 松永行弘 殿

監査役 高 田 淳
同 橋ヶ谷 長生



私ども監査役は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの第40期
営業年度における監査を行いました結果、次のとおり報告いたします。

- 1 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表および損益計算書の記載と合致していると認めます。
- 2 貸借対照表および損益計算書は、法令および定款に従い、会社の財産および損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- 3 営業報告は、法令および定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 4 剰余金の処分に関する議案は、法令および定款に適合し、且つ、会社財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項は認められません。
- 5 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- 6 取締役の職務遂行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

附 属 明 細 書

株式会社 焼津水産振興センター

附属明細書

1 会計方針の変更の理由

該当事項なし

2 資本金及び準備金の増減 (単位：円)

区 分	期首残高	当期増加	当期減少	期末残高
(発行済株式)	(5,400株)	(0株)	(0株)	(5,400株)
資 本 金	270,000,000	0	0	270,000,000
資本準備金	0	0	0	0
利益準備金	6,090,000		0	6,090,000

3 社債、長期借入金及び短期借入金の増減

(1) 借入金の増減

① 長期借入金の増減 (単位：円)

借 入 先	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	期 末 残 高 (うち1年以内 返済予定額)
しずおか焼津 信用金庫	55,000,000			55,000,000 (0)
(株)静岡銀行	45,000,000			45,000,000 (0)
日本政策金融公庫	0	30,000,000		30,000,000 (0)
計	100,000,000	30,000,000	0	130,000,000

② 短期借入金の増減 (単位：円)

借 入 先	期 首 残 高	期 末 残 高	増 減 額
しずおか焼津 信用金庫	80,000,000	90,000,000	10,000,000
(株)静岡銀行	80,000,000	90,000,000	10,000,000
静岡信用金庫	0	1,000,000	1,000,000
計	160,000,000	181,000,000	21,000,000

4 固定資産の取得及び処分並びに減価償却費の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	取得価額	期首帳簿価額	当期増減額		当期償却額	期末帳簿価額	当期末償却累計額	償却累計率	
				増加額	減少額					
有形固定資産	建物	958,841,931	131,932,552	240,000		8,346,049	123,826,503	835,015,428	87.0 %	
	建物附属設備	708,306,775	19,307,150			2,561,930	16,745,220	691,561,555	97.6 %	
	構築物	131,741,130	1,631,277	1,683,000	383,587	409,538	2,521,152	129,219,978	98.0 %	
	機械装置	13,420,000	3			0	3	13,419,997	99.9 %	
	器具備品	47,562,109	3,101,429	1,475,000		1,320,985	3,255,444	44,306,665	93.1 %	
	少額減価償却資産	2,870,000	1,123,667	418,000		956,666	585,001	2,284,999	79.6 %	
	土地	531,004,400	531,004,400				531,004,400	0	0.0 %	
無形固定資産	計	2,393,746,345	688,100,478	3,816,000	383,587	13,595,168	677,937,723	1,715,808,622	71.6 %	
	電話加入権	444,300	444,300				444,300	0		
形資産	ソフトウェア	1,403,000	1,379,617			280,600	1,099,017	303,983		
形資産	計	1,847,300	1,823,917	0	0	280,600	1,543,317	303,983		
	関係会社株式		3,600,000				3,600,000			
	出資金		200,000	10,000			210,000			
	長期前払費用		12,705,741	1,460,820	3,344,778		10,821,783			
投資等	計		16,505,741	1,470,820	3,344,778	0	14,631,783			

【 脚 注 】

建物	増加		
	R 5. 1	厨房壁ステンレス貼り(焼津プリン厨房)	240,000 円
			計 240,000 円
構築物	増加		
	R 4. 6	野立広告塔(正門側)改修工事	1,683,000 円
			計 1,683,000 円
構築物	減少		
	R 4. 5	アルミ合掌カーポート	98,411 円
	R 4. 5	カーポート 1台用	25,558 円
	R 4. 6	看板リニューアル工事	259,618 円
			計 383,587 円
工具器具備品	増加		
	R 4. 5	エアコン設置(店舗No.44宅急便)	805,000 円
	R 5. 3	イベント広場 簡易テント設置	250,000 円
	R 5. 3	テナント出入口看板 バス駐車場側中央口	210,000 円
	R 5. 3	テナント出入口看板 バス駐車場側カニ街道口	210,000 円
			計 1,475,000 円
少額減価償却資産	増加		
	R 4. 9	有圧換気扇新設(給気)	166,000 円
	R 4. 10	ブラインド(2階事務所)	135,000 円
	R 4. 11	ワイヤレスアンプ(藁焼きスペース)	117,000 円
			計 418,000 円

5 資産につき設定している担保権の明細

(単位：円)

担保に供している資産			担保権によって担保されている債務	
種類	期末帳簿価額	担保権の種類	内容	期末残高
建物	140,571,723	根抵当権	㈱静岡銀行	135,000,000
土地	531,004,400	〃	しずおか焼津信用金庫	145,000,000
計	671,576,123			280,000,000

6 保証債務の明細

該当事項なし

7 引当金の明細並びにその計上の理由及び算定方法

重要な会計方針に注記

8 支配株主に対する債権及び債務の明細

(1) 債権の明細 未収金 9,184,800 円

(2) 債務の明細 該当事項なし

9 各子会社が有する会社の株式の数

該当事項なし

10 子会社に対する債権及び債務の明細

該当事項なし

(1) 債権の明細 未収金 該当事項なし

(2) 債務の明細 該当事項なし

11 取締役、監査役又は支配株主との間の取引明細

該当事項なし

12 取締役及び監査役に支払った報酬の明細

区 分	支給人員	支給額	摘 要
取締役	9名	8,860,000円	
監査役	2名	400,000円	
計	11名	9,260,000円	

13 担保として取得している自己株式及び親会社株式の明細

該当事項なし

14 関連会社との株式、出資相互保有

会 社 名	株 数	取得価格	簿 価	当会社保有株式
有限会社 東名焼津酒販	72株	3,600,000	3,600,000	0

15 子会社との営業取引等

仕入高	193,000円
受託料	1,800,000円
受取家賃	1,152,000円

16 取締役、監査役の兼務状況

区 分	氏 名	兼 務 会 社 名	役 職 名
取締役	松 永 行 弘		
〃	中 澤 正 人		
〃	浜 崎 貢	東 海 ガ ス (株)	代 表 取 締 役
〃	加 茂 一 男	大 井 川 農 業 協 同 組 合	非 常 勤 理 事
〃	長 谷 川 寛	焼 津 市 魚 仲 水 産 加 工 業 (協)	代 表 理 事 組 合 長
〃	松 永 勝 裕	株 式 会 社 ア ン ビ ・ ア	代 表 取 締 役
〃	大 石 智 之	焼 津 経 節 水 産 加 工 業 協 同 組 合	代 表 理 事 組 合 長
監査役	高 田 淳	し ず お か 焼 津 信 用 金 庫	常 勤 理 事
〃	橋 ヶ 谷 長 生	小 川 漁 業 (協) 及 び 焼 津 漁 業 (協)	代 表 理 事 組 合 長

販売費及び一般管理費

17

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

単位：円

科 目	金 額	
役員報酬	9,260,000	
給与手当	79,427,282	
雑給	42,117,570	
退職金	10,233,741	
法定福利費	16,231,173	
福利厚生費	4,195,993	
賞与引当金繰入	2,700,000	
賞与引当金戻入	-2,500,000	
退職給付引当金繰入	3,426,322	
退職給付引当金戻入	-10,203,461	
業務委託費	8,637,943	
販売運賃	4,400,630	
広告宣伝費	7,857,083	
乗務員サービス費	1,545,051	
バス対策費	6,410,953	
旅費交通費	3,219,085	
通信費	982,771	
接待交際費	467,503	
消耗品費	11,305,630	
租税公課	6,045,764	
地代家賃	54,644,396	
修繕費	9,070,845	
清掃管理費	18,998,626	
交通警備費	17,543,100	
設備保守料	5,371,865	
水道光熱費	34,514,602	
支払手数料	21,474,623	
車輦費	2,373,291	
図書印刷費	49,232	
事務所費	3,332,390	
事務用品費	470,281	
保険料	1,498,080	
機器使用料	8,159,281	
諸会費	812,183	
会議費	91,767	
寄付金	93,000	
催事費	5,325,839	
減価却費	13,875,768	
雑費	1,443,800	
合 計		404,904,002

参考事項

1 預金利息に対する源泉所得税控除の明細書

(単位：円)

No.	年	月	日	金融機関名等	預金利息	国税
						15.315%
1	4	5	2	静岡銀行焼津支店	49	7
2	4	8	2	〃	51	7
3	4	8	20	〃	8	1
4	4	8	20	〃	43	6
5	4	8	21	しずおか焼津信用さかなセンター	107	16
6	4	8	21	〃	132	20
7	4	9	1	静岡銀行焼津支店	1	
8	4	11	2	〃	51	7
9	4	11	26	しずおか焼津信用さかなセンター	200	30
10	4	12	26	〃	8	1
11	5	1	27	〃	126	19
12	5	1	27	〃	86	13
13	5	1	27	静岡銀行焼津支店	24	3
14	5	2	18	〃	15	2
15	5	2	18	〃	10	1
16	5	2	19	しずおか焼津信用さかなセンター	82	12
17	5	2	19	〃	54	8
18	5	2	19	〃	1	
小 計					1,048	153

2 配当等に対する源泉所得税控除の明細書

(単位：円)

No.	年	月	日	金融機関名等	配当金	国税
						15.315%
1	4	6	15	しずおか焼津信用金庫	4,000	816
小 計					4,000	816
合 計					5,048	969

3 貸倒引当金

(1) 長期滞留債権

(株)丸栄製茶 2,466,195 円

(有)ツジタ 12,102,381 円

未収家賃等 14,568,576 円

4 賞与引当金の損金算入明細

(1) 令和4年7月 賞与・社保 5,013,655 円 34人 1人当たり 147,460 円

令和4年12月 賞与・社保 5,122,836 円 26人 // 197,032 円

計 344,492 円

(2) 上記の3/12相当額 344,492 円 × 3/12 = 86,123 円

(3) 当期末の使用人等の数(賞与支給対象者) 32人

(4) 当期繰入額 86,123 円 × 32人 = 2,755,936 円

→ 2,700,000 円

管理 15% 405,000 円

食堂 75% 2,025,000 円

立寄 7% 189,000 円

宅配 3% 81,000 円

(2,700,000)

5 退職給与引当金

当期末の要支給額 20,889,325 円

管理 1,067,449 円

食堂 19,057,097 円

立寄 764,779 円

宅配 0 円

令和5年度（第41期）事業計画と予算承認について

第41期 事業計画

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

I. 第41期基本方針

3年振りに行動制限の無い年末年始を迎える等、新型コロナウイルス感染症は社会経済活動を維持しながら感染拡大を防止する新たな局面に入り、旅行や観光・飲食等コロナ禍で打撃を受けた我々にも回復の兆しが見え始めました。しかしながら、海外情勢等によるエネルギーや原材料価格の上昇、供給面での制約、円安・ドル高、金融資本市場の変動等により、先行き予断を許さない経営環境となっております。

このような中、当社は今のままではリニューアルどころか会社の存続すら危うい状況にあり、経営改善を進めるため下記の重点施策・重点数値目標を掲げる。

II. 行動指針

コロナ禍の影響を克服し経営を支える事業の確立に向け、収益水準の早期回復を図るとともに戦略の見直しと行動に移す計画を展開し、水産都市としての焼津及び地場製品の魅力をPRし、多くの来場者に満足感を与えられる施設を目指す。

・収益拡大を目指し、水産都市焼津の代表企業としての存在感を示す。

III. 施設全体の目標来場者数とバス台数及び施策

来場者目標 1, 200, 000人 来場バス目標 4, 500台

営業戦略

- ・インターネット等を活用した情報提供の充実
- ・個人来場客の誘客促進
- ・来場客の満足度のアップ

IV. 食堂部門数値目標と施策

1. 食堂部門売上高・利用客数の増加

お客様に対して満足して頂ける高品質の食事メニューの提供と接客対応の向上を図る。

(1) 売上高目標

食堂売上高目標	310, 000千円
(内訳) 一般客売上高目標	150, 000千円
団体客売上高目標	160, 000千円

(2) 利用客数目標

総利用客数目標	157,000人
(内訳) 一般客数目標	100,000人
団体客数目標	57,000人

2. 一般客増加対策

- ・キャッシュレス化への対応
- ・SNSの活用による大食堂渚の宣伝強化

3. 団体客増加対策

- ・柔軟な営業活動の展開
 上半期・・近距離圏に集中して募集旅行、日帰り一般団体獲得
 下半期・・大口団体獲得を目指した宿泊施設との合同営業強化
- ・遠方エリアのフロント（案内所）の有効活用
- ・観光団体との連携を強化し、NHKドラマとのコラボでの魅力商品開発

V. 収益改善に向けての実施策（約50,000千円の増収）・・・赤字からの脱却

1. 管理部門（増収と経費削減）

(1) 空き店舗の入店促進・休憩所の再活用

- ・令和5年度新規5店舗の契約目標
 増収見込み 5店舗×200千円/月×6ヶ月=6,000千円

(2) 倉庫としての貸出し

- ・倉庫（卸売り通り）及び店舗部分の在庫置き場としての賃借推進
 増収見込み 10店舗×50千円/月×6ヶ月=3,000千円

(3) 経費削減

- ・支払地代の引下げ交渉の実施（焼津市及び一般地主）
 焼津市節減見込み ▲18,000千円×50%=▲9,000千円
 地元地主節減見込み ▲36,000千円×20%=▲3,600千円
- ・バス対策費、広告宣伝費の入居店舗からの徴収
 20千円/月×12ヶ月×42店舗=10,800千円・・・

当社費用負担の軽減

2. 食堂部門

(1) 原価率管理

- ・令和4年度の原価率上昇分3.3%の削減（メニュー価格10%値上げ）
 売上目標 310,000千円×▲3.3%=▲10,230千円

(2) 支払手数料の削減

- ・旅行会社宛団体客の食堂に伴う利用手数料13%の引き下げ交渉
 前年実績21,366千円 — 令和5年度目標15,600千円 =
 5,766千円削減

3. 関連部門（立寄・宅配）

（1）採算性の見直し

VI. 地域との連携

- ・地元中学生、高校生との協業メニュー開発
- ・近隣市町との連携強化と地場産品PRによる消費拡大
- ・生鮮3品業者、商店街連合会との定期情報交換の再開

VII. 環境保全への取り組み

- ・ごみ減量化への意識醸成と環境整備
- ・適量の仕入れと調理端材の商品化
- ・食べ残しのチェックと適量提供

VIII. リニューアル計画

- ・計画の再始動と事業方法の確立
- ・スケジュールに基づいた活動

IX. 施設改修・改善計画

1. 今年度内の施設、改修計画

- ・大型看板の更新工事
- ・冷風設備改修
- ・消防設備検査指摘事項
- ・特殊建築物検査指摘事項

令和5年度予算

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

I. 売上高目標

<u>総売上高</u>	513,000千円
1. 管理部門	147,000千円
2. 食堂部門	310,000千円 (利用客数 175,000人)
(内訳) 一般客	150,000千円
客単価	1,500円/人
団体客	160,000千円
客単価	2,810円/人
3. 立寄り部門	30,000千円
4. 宅配部門	26,000千円

II. 利益目標

<u>1. 売上高総利益</u>	347,470千円
(内訳)	
管理部門	147,000千円
食堂部門	186,500千円 (売上総利益率 60.2%)
立寄り部門	7,470千円 (売上総利益率 24.9%)
宅配部門	6,500千円 (売上総利益率 25.0%)
<u>2. 営業利益</u>	▲8,473千円
(内訳)	
管理部門	▲6,940千円
食堂部門	4,050千円
立寄り部門	▲5,588千円
宅配部門	5千円
<u>3. 経常利益</u>	3,627千円
(内訳)	
管理部門	3,960千円
食堂部門	3,400千円
立寄り部門	▲5,588千円
宅配部門	1,855千円